

BioResource Now!

Issue Number 6 March 2010

国内外のバイオリソースを巡る様々な問題や取り組みについて、毎月ホットな話題をこのニュースレターで紹介していきます。



鈴木 睦昭 (国立遺伝学研究所知的財産室 室長)

海外ホット情報
No.29

生物多様性条約 アクセスと利益分配作業部会 第9回会議 (ABSWG-9) 報告

P1-2

じょうほう通信
No.48

ウェブサイトの表示速度を改善しよう!

P2

ニュースレターのダウンロード先
URL: www.shigen.nig.ac.jp/shigen/news/

NewsLetter に掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法、及び国際条約により保護されています。

海外ホット情報 (NO.29)



国立遺伝学研究所
知的財産室 室長
鈴木 睦昭

生物多様性条約 アクセスと利益分配作業部会 [第9回会議 (ABSWG-9) 報告]

～カリで仮の議定書案しかできず、名古屋への道険し、COP10 議長国日本に期待～
コロンビア カリ(2010年3月22-28日)



南米コロンビア カリにて

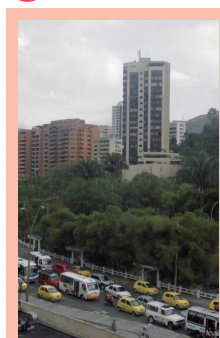


写真1: ホテルから見た朝のカリ市内

比較的新しい車と韓国の黄色の小型車タクシーが走る街中を抜けて、郊外にいくと馬車も道を走る。昼間はまぶしい光の中、まるで初夏のようなすがすがしい風が強く吹き始め、夜は少し冷え込む。ここは南米コロンビアのカリである(写真1)。

2010年3月22日から28日まで、「生物多様性条約 アクセスと利益分配に関する第9回 公開作業部会 (ABSWG-9)」が開催され、120 カ国、600 人の各国政府関係者、関係機関、民族グループなどが参加した。会議の目的は、2010 年名古屋で行われる第 10 回締結国会議 (COP10) に向けて、国際的枠組案の最終決定をすることであった。しかし、会議は先進国と途上国の間で、アクセスと利益分配について理解が進まず、結局、交渉が保留された仮の議定書案をもって、本会議の結果となった。

生物多様性条約と 今回の会議の位置付け

生物多様性条約 (CBD) は国連環境プログラム (UNEP) により 1992 年に署名が開始され、現在、日本を含む 192 カ国が締結している。ちなみに米国は締結していない。CBD 条約の主な目的は「生物多様性保全の促進」、「その持続性の確保」、「遺伝資源を用いることで得られる利益に関する公平かつ衡平な共有」である。CBD 条項第 15 条では、遺伝資源のアクセスには事前同意書

prior informed consent : PIC)、相互の同意書 (mutually agreed terms : MAT) が必要であることや、利用から生ずる利益の配分などが決められている。また、関係事項として、アクセスと技術移転、バイオテクノロジーの利益のハンドリングと配布が規定されている。

COP8(2006 ブラジル) では COP10 までに国際的枠組の話し合いを終了させると約束している。今回は COP10 前の最後の作業部会であることから、本会議の目的は、アクセスと利益配分 (Access and Benefit Sharing, ABS) に関して、国際枠組に関する交渉を継続し、ドラフトプロトコル (議定書案) に同意することであった。

会議の内容

最初の全体会議で共同議長は、名古屋の COP10 に向け議定書の最終化を目指す議論ができるのはあと 7 日間しか残されていないことを強調し、カリ会議での最終ドラフト議定書の作成を目指すことを宣言した。午後には各国の課題を聞き、その課題をもとに、4 つのコンタクトグループ (のちに COP10 準備のグループが増え 5 つになった) に分けられた。第 1 グループはスコープと財務関係、第 2 グループは法律順守に関する課題、第 3 グループは派生物、利益配分の共有、第 4 グループが伝統的知識 (TK) である (図 1)。2 日目の午後から 4 日目の夜までグループ討論が続き、5、6 日目に地域グループ間 (IG) 会議が開かれた (写真 2)。

グループ1: スコープと財務 ・他の協定、プロセスの関係 ・一時的、地理的な問題、 ・セクター的なアプローチの融通性 ・非締結国 ・財政メカニズム、財源	グループ3: 派生物と利益配分 ・遺伝資源、派生物、利益配分の利用 ・アクセスと技術移転を含む利益配分の義務 ・アクセスと関係した課題 ・生物の多様性に関する研究 ・アクセス要求 ・アクセスがPICを得ることを条件としない締結国について
グループ2: 法律順守 ・開示要求とチェックポイント ・モニター、報告・トラッキング ・紛争の解決と裁判へのアクセス ・遺伝資源の起源の国 ・PICなし、MATなしの実例	グループ4: 伝統的知識に関する課題 ・ABSの活動と伝統的知識(TK)に関する関係の適切な認識について ・国の境越の多様性 ・カスタマイズされた法律の役割と存在の締結国の認識

* さらにCOP10に対する対応としてコンタクトグループ5が設定
図 1: コンタクトグループとそれぞれの課題

資源国側からは派生物の範囲を広げたい、監視体制のチェックポイントを強化すべきという意見が、先進国側からは問題営業秘密が守られないので無理があるという主張などで、議論は平行線のまま日程のみ進んだ。5 日日夜の I G 会議のとき、アフリカ側の提案で一時非公開会議に切りかえる場面もあった。そのあとの会議でアフリカ側から、今回のドラフトは同意がなされていないドラフトとして出すべきとの提案があり、カリの議定書案のフットノートにその旨記載することとなった。交渉が保留された仮の議定書案までしか進まなかったのである。

結局、最終日の全体会議で、「カリから名古屋までの道」が議論され、10 月の名古屋まで更に 2 回の会議を開き、名古屋議定書について議論されることとなった。



写真2: 会場風景: I G 会議の様子

大学への影響

現在においても各国国内法が定められている国では、PIC や MAT の体制づくりが進んでいる。もはや旅行バックに遺伝資源を入れて持って帰る研究者はひとりもいないと思うが、資源国の教授の了解だけでは不十分で、政府当局の了解を得ることが必要であることを周知徹底するためにも、今後情報発信に努めたいと思っている。



次ページへ続く

今回の会議でも、研究目的の使用は区別するという意見は各国から出ている。また、日本から非商用利用についての簡単なアクセス方法の提案もなされたが、逆に利用の範囲の順守を厳しく問われる可能性もある。

今後、大学においても PIC, MAT の管理の必要性が増すと考えられ、海外からの遺伝子資源の取り扱いの透明性、システム化が求められるであろう。また、日本国国内法が制定されると、内容によっては大学研究者への影響も免れない可能性がある。



最後に

Nice meeting, adjudge! と共同議長が木槌を叩き、会議は終わったもののネゴシエーションが保留された仮の議定書案までしか進まず、名古屋までの道は険しそうだ。しかし、最終日の日本代表の発言に各国から拍手が起こり、次の議長国として期待されていることが感じられた。

今回の会議は、学会と違い当日にスケジュールが決定されること、突然の会議中断や、会議が日ごと夜へ突入していくなど、各国の外交の様子を見ることができたことは、貴重な体験であった。

会議会場「カリ イベントセンター」はカリの市内から車で 30 分程度の場所にある。専用バスは、朝ホテルを出て会場に向かい、夜は警察による誘導のもと、街灯の暗い夜道をホテルに帰る。7 日間その繰り返しだった。しかし、初日の経済大臣も訪れた政府主催のサルサダンスと、会議の合間の無料のコロンビアコーヒーの味、夜飲んだ地ビール・クラブコロンビアは忘れ難い。■



ウェブサイトの表示速度を改善しよう!

インターネットの回線速度は年々速くなり、ストレス無く情報を得られるようになりました。しかし、回線速度が速くなることで、ウェブページの表示速度のボトルネックは回線速度からブラウザの表示の問題に移ってきました。今回は、ウェブページ作成する開発者やプログラマーのために、ページの読み込み速度を測定して分析するツールで、比較的に導入が簡単で効果の高いものを、紹介したいと思います。



1 YSlow

YSlow は Yahoo! Developer Network から公開されている Firefox のプラグインです。YSlow にはウェブページを高速化する 22 のルールが決められており (2010 年 3 月 31 日時点)、このルールに従ってウェブサイトを A~F で評価します。A が高速化されていることを表し、F は高速化する余地が残っていることを表します。

Firefox version 3.6, Firebug version 1.5.3 で動作確認しています。

2 YSlow の導入

YSlow を使用するために、Firefox と Firebug をインストールしましょう。配布サイト (<http://developer.yahoo.com/yslow/>) から YSlow をダウンロードして、Firefox を再起動します。ブラウザの右下に表示されている Firebug のマークをクリックして、Firebug の操作画面を表示します (図 1)。次に、画面のタブに表示されている YSlow をクリックすると、YSlow の操作画面が表示されます (図 2-①)。これで、YSlow の導入は完了です。

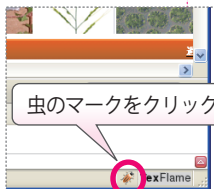


図 1: Firebug の操作画面表示方法



図 2: YSlow の操作画面表示方法

3 YSlow 使用方法

YSlow で測定したいウェブページを表示させ、YSlow の操作画面を開きます。次に、Rulesets を選択します (図 3-①)。Rulesets はウェブページの規模に応じて高速化に役立つルールをまとめたものです。Rulesets は大規模サイト用の YSlow(V2), Classic (V1) と小規模サイト用の Small site or Blog があります。今回は Classic(V1) を選択して「Run Test」ボタンを押します。すると、総合評価と項目毎の評価が表示されます (図 3-②)。



図 3: YSlow 結果画面

例えば、D 評価の項目をクリックすると高速化するためのアドバイスが表示されます (図 3-③)。さらに詳しく知りたいときは、「Read More」をクリックすると詳細画面へ移動します。このように YSlow は、ウェブページを評価して、高速化するための様々なアドバイスをしてくれます。自分で作成したウェブページを高速化したい時には是非使ってみてください。

(渡邊 融)

お知らせ

詳細は <http://www.nbrp.jp/> からご覧になれます

NBRP コムギを担当 (分担機関) の荻原保成先生 (横浜市立大学 木原生物化学研究所) が、2009 年度日本育種学会賞を受賞されました。受賞課題は「コムギの核および細胞質ゲノムにおける機能ゲノム科学の展開」です。

Contact Address

連絡先 〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111
国立遺伝学研究所 生物遺伝資源情報総合センター
TEL 055-981-6885 (山崎)
E-mail brnews@chanko.lab.nig.ac.jp

バイオリソース情報

(NBRP) www.nbrp.jp/
(SHIGEN) www.shigen.nig.ac.jp/indexja.htm
(WGR) www.shigen.nig.ac.jp/wgr/
(JGR) www.shigen.nig.ac.jp/wgr/jgr/jgrUrlList.jsp

BioResource Now!
Issue Number 6 March 2010

Editor's Note

今回は届いたばかりのアツアツの海外ホット情報をお届けします。120 カ国 600 名の参加者が 7 日間に渡りほぼ缶詰状態で議論を続ける困難な状況が、コロンビアコーヒーの香りとともに伝わってきますね。研究用の生物リソースにとっても避けて通ることのできない重要な条約ですのでこれからフォローしていきたいと思ひます。鈴木室長ありがとうございました。(Y.Y.)